

「民話語り」と「読み聞かせ」で ことば文化の重要性を再認識。

2011年は国際読書年であり、下野新聞社では地域活性化策として、地域の民話の「民話語り」を、新潟日報社では「読み聞かせの会」をそれぞれ開いた。イベントが大好評に終わっただけでなく、新聞記事などによって、両県民に「ことば」を通じて豊かな心が創りあげられることを訴求できた。

紙上連載企画から「民話」へのアプローチを図る。

下野新聞社では地域貢献と地域活性化を意図して、国民読書年にちなんだ企画を考えていた。そこで浮上したのが、かねてより下野新聞紙上に連載企画されていた「語り部に聞く 下野民話の旅」である。このシリーズは、栃木県内に伝わる民話をベースとしてその舞台となった場所や、関連事項を紹介するものだ。

同新聞社地域貢献推進室部長の綱川仁士さんは、今回の企画意図について次のように話す。

「民話の中には口伝で伝わり、活字になっていないものが多いのです。まず一つはそれを言葉文化として後世に残すということ。それから子どもたちに郷土の民話を知ってもらうことで、郷土への興味や愛情をもってもらい、民話の継承にもつなげたいと考えました」

栃木県内にはもともと民話を語るグループが各地にあり、それぞれが独立した形で民話の会を開いていた。偶然にもこれらのグループがまとまり「栃木県民話の会連絡協議会」が前年度にできたばかりでもあった。下野新聞社が同協議会に企画への参加を打診したところ、即座に快諾された。

栃木県でのキャンペーン企画の内容は、「語り部に聞く 下野民話の旅」のパネルの展示と書籍の刊行、村松アナウンサーによる民話の読み聞かせと栃木県民話の会連絡協議会のメンバーによる読み聞かせ、栃木県の民話に関する講義などである。

イベントの告知を新聞紙上などで行ったところ、300

人の定員に対して、560名が応募するという反響ぶり。

県内の民話に対する意識の高さを示すものだった。

「『しもつけ民話語り』の集い」は、11月3日、宇都宮市東市民活動センターで開催された。

アナウンサーの村松さんは映像を交えながら、「おこんじょうり」を披露。浄瑠璃を上手に謡い、人の病気を治すきつねの「おこん」が主人公の名作である。しみじみと語り、間合いも巧みなその語り口に会場はどんどん引き込まれていった。

次の民話の会による読み聞かせには10人の語り部が



村松さんの語り会場全体が引き込まれた



民話の会メンバーによる読み聞かせ

登場。中には小学生や、大病から回復して参加したという人もいる。これがまた上手に、時には方言そのままに、栃木の民話を語っていく。

綱川さんも

「語り部と聴講者が一体となった素晴らしい企画でした。私も感動しましたし、郷土への愛着も一段と湧いてきました。インターネット時代であればなおさらのこと、読み聞かせのすばらしさを皆さんに伝えたいですね」と語った。

すでに、栃木では次年度以降も同様の企画を続けることが決まっている。

新潟ではプロの語り手が読み聞かせのノウハウを提供。

一方、新潟日報社のイベントは「親と子どものための『ことば文化』読み聞かせ会」と題して、2010年10月10日、新潟県東区にあるNIC木戸えほん館で開催された。こちらは親子を対象とし、村松さんが持参した絵本を読み聞かせながら、そのノウハウを親に教えるという主旨だ。

「みんなあ、本を読むのは好き?」「ぬいぐるみは持っている?」などと話しかけながら、雰囲気盛り上げていく。表情豊かな村松さんの読み聞かせに、子どもたちは村松さんと絵本の挿絵を交互に見比べながら、次第に物語に引き込まれていった。



新潟で行われた読み聞かせ会

担当者より



小さな運動を
支援するAJOSCの
姿勢に敬意を表します。

下野新聞社地域貢献推進室
部長
綱川仁士さん

地域の「民話語り」をコンテンツとした企画で実りの多いイベントになりました。AJOSCも栃木県内において徐々に認知されています。小さな運動に支援されて、大きな輪に広げていくAJOSCの姿勢に敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

「こんとあき」「ひとまねごころ」など4冊の本を読み聞かせた後、村松さんは次のように語ってしめくくった

「お子さんが小さいうちは、お父さんお母さんが本を読んであげましょう。中学生、高校生になったら、今度は子どもに読み聞かせをしてもらってください。子どもは未来の財産。顔と顔をあわせて子育てしていきましょう」

ことばの文化は目と目をあわせて、あるいは手と手をつないで会話することで、数倍の力で伝わる。

「このイベントを通じて、そんなことも再確認できた」と同社広告事業部広告部 渡辺さんは語った。



新潟日報が発行している「assh」に掲載された「親と子どものための『ことば文化』読み聞かせ会」